

暑熱環境下での大会開催時における熱中症事故防止対策について

瀬谷区野球協会

本年も全国的に夏季の高温猛暑が予想されており、このような環境下での大会実施に際し、参加選手及び関係者の熱中症予防をはじめとする安全を最優先と考え、瀬谷区民野球大会開催時に於いても、環境省及び気象庁から発表される暑さ指標をもとに、試合の中止・中断・延期等の処置をとらせて頂くケースがありますことを参加チームの皆様には是非ご理解いただきたくお知らせいたします。

以下に暑熱環境下での熱中症予防対策や具体例を示しますので、ご確認いただき事故の無い大会の実施にご協力をお願い致します。

記

1 大会運営時の熱中症予防対策

1) 大会の開催について

- ① 熱中症特別警戒アラート発令時は、全ての試合を中止とする（発令予測：前日 14 時頃）
- ② 熱中症警戒アラート発令時は、次の通りとする（発令予測：前日 17 時頃）
 - ・暑さ指数 31 以上の場合、又は暑さ指数 31 以上が予測される時間帯は試合を行わない場合がある。

2) 暑さ指数 31 未満で、大会を実施する場合の運営について

- ① ダブルヘッダーは行わない。
- ② クーリングブレイクを導入する ※クーリングブレイクは、試合時間に含めない。
 - ・2 回/4 回終了時に 5 分程度の給水タイムを設ける。
 - ・守備を行う時間が、20 分を超える場合には、給水タイムを設ける。
- ③ 試合参加選手の健康状態を確認する（試合前に熱中症予防コンディニングチェック表にて確認）
- ④ 冷水クーラーボックスを準備する（主催者側にて両ベンチに準備する）
- ⑤ 暑さ指数計器等の準備、又は熱中症予防情報サイトを常時確認する（主催者関係者にて）
- ⑥ 日除けテントを設置する（関係者用として主催者側準備）
- ⑦ 参加選手、チームの方には、氷・経口補水液・スポーツドリンク等が充分摂取できるようご準備下さい。
大量に発汗すると血液中の塩分濃度が下がります。水分補給と同時に塩分補給も重要です。

3) その他

試合中止時の各チームへの連絡については、主催者よりチーム代表者に速やかに伝達する。

※ 本件、熱中症事故防止対策作成に際し、日本スポーツ協会および全日本軟式野球連盟の対策指針と、スポーツ庁及び、環境省の「熱中症予防の為にガイドブック」を参考としています。